

## 平成21年度事務事業評価シート(20年度実施事業分)

事業番号	09 06 03	中期総合計画主要施策番号	2-03	担当課	部・課	農政部農村振興課	
事業名	農業リーダー育成事業			内線	3109		
				E-mail	noson@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	本県農業生産の中核を担っている青年農業者、先進的・企業的農業者、女性農業者等を、地域の営農活動や農村集落社会で重要な役割を担うリーダーとして位置付け育成するとともに、効率的かつ安定的な農業経営者としての経営発展を支援する。					
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 ・全国に先駆けて取り組んでいる、本県独自の称号制度である、農業士、農業経営士、農村生活マイスターの認定制度等を通じ、経営・技術能力向上研修などの支援策を講じてきたが、農業リーダー(農業士、農業経営士、農村生活マイスター等)の高齢化によるリタイアと担い手不足により、農業リーダーが減少し、地域農業の推進役の確保が困難な状況にある。 ・消費者ニーズの変化や、流通チャネルの多様化・複雑化への対応の遅れによる農業経営の弱体化。					
		【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 ・農村集落の過疎化、高齢化、混住化等農村集落の構造的な変化、生活様式の変容により、農業リーダーが果たす役割が多様化・複雑化している。 ・農業経営の発展のための、農産物加工・直売等の経営の多角化や、ブランド化の促進など競争力を高める取組の遅れ。					
		【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 ・地域農業の振興を図るために、社会情勢にマッチした農業リーダーの育成、活動において、きめ細かな支援が必要。 ・農業リーダーに対し、リーダーとしての資質の向上を図るステップアップ、環境保全や高付加価値型の農業、観光農業など経営の多角化に向けた技術指導・研修の支援が必要。 ・女性の地位向上、農業・農村の活性化のため、農村女性が男性と対等なパートナーとして農業経営や地域社会に参画し活躍する為に支援が必要。					
	事業内容	・本県農業の推進役となる農業士、農業経営士、農村生活マイスターの認定を行い、農業リーダーの相互の連携・自己研鑽の場づくり ・農業リーダーの育成、ステップアップ、仲間づくりのための研修会や新たな商品開発を促す信州・味の文化展等の開催 ・農業リーダーの社会的な活動への参画(家族経営協定)を促し、その社会的地位の向上(女性農業委員)や、リーダーとしての活動環境整備の推進 ・農業リーダーの連携強化、消費者との情報交換のための農業フェスティバル等のイベント開催					
実施期間	S42 ~	根拠法令等	農業改良助長法、長野県農業士認定要領、食と農業農村振興計画 等				
成果と達成状況	事業の目指す成果	達成度(期待どおり)の判定基準(H20)		達成状況		評価	
	農業リーダーである農業士、農業経営士、農村生活マイスターを核として、農業・農村の振興と活性化が図られるとともに、農村地域における男女共同参画社会の推進が図られる。 平成24年度目標 ・家族経営協定の年間締結数130/年 ・女性農業委員の複数選出市町村数 81市町村	平成20年度目標は次のとおりとする。 ・農業リーダーの認定目標 農業士10名、農業経営士8名、農村生活マイスター20名 ・家族経営協定の締結目標 130戸 ・女性農業委員複数選出市町村目標数 73市町村となるよう推進。 ・セミナー等の開催目標 18地区		平成20年度実績は次のとおりであった。 ・農業リーダーの認定実績 農業士7名、農業経営士7名、農村生活マイスター28名 ・家族経営協定を120戸で締結した。 ・女性農業委員の複数選出市町村は、4市町村増えて61市町村となった。 ・セミナー等の開催実績 18地区で実施した。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区分	単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要	
	最終予算額 (A)	千円	7,628	6,989	6,862	国庫・県単 県単	
	決算額 (B)	千円	7,628	6,262		実施方法 直接	
	B(H21はA)のうち一般財源	千円	1,513	1,513	1,966	歳出節別内訳等	
	概算人件費	人	3.20	3.20	3.20	・報償費 715 ・旅費 904 ・需用費 2,292 ・役務費 583 ・使用料及び賃借料 1,768 (単位: 千円)	
概算事業費 (B(H21はA) + C)	千円	30,476	29,139	29,739			
事業実績	内容	単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績	
	農業経営士等認定者数	人	10	14	15	・「信州・味の文化展」の開催を通じ、地場農産物を活用した新たなふるさと料理の創出促進などにより、グループ相互の研鑽と地域の活性化が図られた。	
	農村生活マイスター認定者数	人	39	28	20	・地域セミナーの参加者が増加していることから、本県農業を維持・発展させるために、農業を担う新たな農業リーダーの育成には県の関与・支援が必要と判断される。	
	地域セミナー受講者数	人	588	936	700	・農業フェスティバルについて、46,000名の来客があり、信州農産物や農業士の取組状況について広くPRできたとともに、消費者との交流が図られた。	
事業の課題	区分	判定・説明					
	事業のニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・称号毎に増減はあるが、農村生活マイスターは目標を上回るなど、総じてニーズは横ばいであると判断される。 ・地域セミナーの参加者が増加していることから、本県農業を維持・発展させるために、農業を担う新たな農業リーダーの育成には県の関与・支援が必要と判断される。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	有効性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	効率性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
課題の総括	・農業者の高齢化により担い手が減少し、高齢農業者や遊休農地の増加が危惧されることから、地域の営農活動の維持や農村社会の振興を図る上で、地域農業の推進役となる農業リーダーの育成・支援は、継続する必要がある。 ・農業リーダーの育成に向けて、社会情勢の変化やニーズに見合った取組となるよう、関係機関・団体を交えて各種セミナーの持ち方等について引き続き検討する必要がある。						